

東北圏広域地方計画改定の背景及び基本的考え方

[着色表示 凡例]

青 字 : 東日本大震災を踏まえた追記・修正

赤 字 : 上記以降の情勢を踏まえた追記・修正

平成27年3月2日(月)

東北圏広域地方計画推進室

東北圏広域地方計画改定の背景・基本的考え方

・現行計画に対し、計画変更の背景や必要性、基本的考え方を追記。

【東日本大震災を踏まえた変更】

東北圏広域地方計画（現行計画）

平成21年8月4日策定

東日本大震災の発生

- ◆死者・行方不明者約2万人に及ぶ未曾有の被害を東北圏はもとより東日本全体にもたらし、その影響は全国に及んだ。
- ◆長い年月をかけて培ってきた災害への備えの想定を超えるものであった。
- ◆福島第一原子力発電所に重大な被害を発生させ、広範囲に放射能を飛散させる我が国史上最悪の原子力発電所事故を引き起こした。

多くの課題が発生

東日本大震災により明らかとなった圏土計画における諸課題に対応すべく、本計画を変更

- 構成機関からの教訓・課題の提案
- 東日本大震災を踏まえた各種提言等
- 自治体復興計画
- 東北圏広域地方計画シンポジウム
- 有識者懇談会

【震災を踏まえた計画変更の基本的考え方】

- ①東日本大震災からの復興とともに未来を担う東北圏づくり
東日本大震災からの復興はもちろん、日本の未来を見据えた東北圏の発展性を有する施策やビジョンを目指す。
- ②全国モデルとなる災害に強くなやかな東北圏の形成
今後、巨大で複層的な災害に見舞われても、防災・減災により東北圏全体としての強靱性を発揮し、地域が持続可能で活力ある災害に強い地域ビジョンを打ち出すとともに他の圏域の模範となることを目指す。
- ③東北圏の一体感を高める多様な連携の強化
協議会の構成機関を含め東北圏の産学官全体で連携することにより、相乗効果を生みだし、東北圏としての一体性強化を図るための効果的・効率的なプロジェクトの提案を目指す。

【関連計画の反映による変更】

国土計画である「新たな国土形成計画（全国計画）中間整理」「国土のグランドデザイン2050」、アンブレラ計画である「国土強靱化基本計画」をはじめ近年策定された国の計画について、関連の深いものを反映

現行計画に反映した主要な関連計画 ※()は公表年月日

国土のグランドデザイン2050(H26.7.4)
新たな国土形成計画(全国計画)中間整理(H27.1.19)
まち・ひと・しごと創生総合戦略(H26.12.27)
経済財政運営と改革の基本方針2014(H26.6.24)
国土強靱化基本計画ー強くて、しなやかなニッポンへー(H26.6.3)
インフラ長寿命化基本計画(H25.11.29)
～東北地方産業競争力協議会のまとめ～(H26.4.16)
「新しい東北」の創造に向けて(H26.4.18)

変更にあたっての施策の基本的方向性

- ◆東日本大震災からの迅速な復興
1日も早い復興と、東北圏の安心・安全な地域づくりを推進。災害の教訓を活かし防災先進圏域として世界に貢献。
- ◆地域の個性の磨き上げと連携強化
圏域特有の文化・伝統・資源を活かした個性ある地域づくりを推進。生活基盤を確保し多様な価値を有する地域間をネットワークで繋ぎ相互に貢献。
- ◆東北を支える産業の強化と人材の育成
産業競争力の強化とともに、知的交流拠点を整備し担い手育成を推進。多様な世代や女性が活躍できるくらしやすい共助社会を形成。

現行計画からの変更点①

東日本大震災により明らかとなった圏土計画における諸課題に対応すべく、本計画を変更

- ・第1章においては、計画変更の背景や必要性、基本的考え方を追記。
- ・第2章においては、東日本大震災で明らかとなった課題、計画策定後における状況の変化等を追記。
- ・第3章においては、変更計画に盛り込む施策の基本的方向性などを追記。
- ・第4章においては、復興と防災に関する戦略的目標を1つずつ設定し、それぞれに関係する主要な施策を記載。
現行の戦略的目標においては関連する施策を追記。
- ・第5章においては、復興に関する新たな広域連携プロジェクト等を追加。

【東日本大震災を踏まえた目次の変更点】

第1章 計画の目的

青字:追加・変更部分

計画変更の背景や必要性、基本的考え方を追記

第1節 計画の目的

第2節 計画の対象区域と計画期間

第2章 東北圏を取り巻く状況と地域特性

震災で明らかとなった課題、計画策定後の状況の変化を追記

第1節 東北圏が歩んできた歴史 第2節 東北圏の特徴と魅力

第3節 東北圏を取り巻く潮流 第4節 東北圏発展の課題

第3章 これから10年で東北圏が目指す姿

変更計画に盛り込む施策の基本的方向性などを追記

第1節 東北圏の新しい将来像

第4章 戦略的目標と実現のための主要な施策

第5章 広域連携プロジェクト

1つのプロジェクトを追加、14の広域連携プロジェクトに設定

第6章 計画の推進に向けて

第1節 計画の効果的推進 第2節 他圏域及び他計画との連携

戦略的目標を2つ追加。現行の戦略的目標においては関連する施策を追記

第1節 東日本大震災からの被災地の復興

- 1 被災地の復興に向けた新しい地域づくり
- 2 農林水産資源を始めとする地域資源の回復と地域産業の経営強化
- 3 福島第一原子力発電所の災害への対応と継続的な取組

第2節 災害に強い防災先進圏域の実現

- 1 広域災害に備えた地域間連携の強化
- 2 災害リスクを低減する防災力の強化

※震災を踏まえた追記のみ表記

第3節 恵み豊かな自然と共生する環境先進圏域の実現

- ・再生可能エネルギー等の活用の加速化

第4節 雪にも強く安心して暮らせる温もりのある人に優しい圏域の実現

- ・災害時における医療体制の確保及び地域医療、福祉体制の確保

第5節 地域の資源、特性を活かした世界に羽ばたく産業による自立的な圏域の実現

- ・災害時における持続可能なエネルギー供給体制の構築

第6節 交流・連携機能の強化による世界に開かれた圏域の実現

第7節 東北圏民が一体となって地域を考え行動する圏域の実現

- ・共助によるコミュニティの活性化のための絆の構築

広域連携プロジェクトを1つ追加。他のプロジェクトについては部分修正

1 新しい東北圏を創造する東日本大震災からの復興プロジェクト

現行計画からの変更点②

関連計画及び近年の社会情勢に対応すべく、本計画に追記

関連計画	各計画の理念、基本方針等 ※赤字:現行計画へ新たに追加	関連計画を踏まえた追加項目
国土のグランドデザイン2050 (H26.7.4)	対流促進型国土の形成、キーワードはコンパクト+ネットワーク 国土づくりの3つの理念:多様性「ダイバーシティ」、連携「コネクティビティ」、災害への粘り強くしなやかな対応「レジリエンス」 (1)国土の細胞としての「小さな拠点」と、高次地方都市連合等の構築 (2)「攻めのコンパクト」・新産業連合・価値創造の場づくり (3)スーパーメガリージョンと新たなリンクの形成 (4) 日本海・太平洋2面活用型国土と圏域間対流の促進 (5)国の光を観せる観光立国の実現 (6) 田舎暮らしの促進による地方への人の流れの創出 (7)子供から高齢者まで生き生きと暮らせるコミュニティの再構築 (8)美しく、災害に強い国土 (9)インフラを賢く使う (10)民間活力や技術革新を取り込む社会 (11)国土・地域の担い手づくり (12)戦略的サブシステムの構築も含めたエネルギー制約・環境問題への対応	施策の内容 (戦略的目標4:雪にも強く人に優しく暮らしやすい対流促進型の地方の創生) ◆IT産業をはじめとした多様な産業の振興によるUITターンの促進 ◆多世代循環型地域の構築 ・「高齢者参画社会」の推進 ◆女性や若者の活躍を支える体制づくり ・男女が共に仕事と子育てを両立できる環境整備による女性の社会参画の推進 (戦略的目標5:地域の資源、特性を活かした世界に羽ばたく産業による自立的な圏域の実現) ◆アジアを中心とした国際観光及びビジネス需要の取り込みの推進 ◆観光の振興による雇用の創出 (戦略的目標6:交流・連携機能の強化による世界と対流する圏域の実現) ◆スーパーメガリージョンとの連携 ◆空港の機能強化による航空ネットワークの充実 (戦略的目標7:地域を支える人づくりと共助による住民主導の地域運営の実現) ◆インフラを支える担い手の確保
新たな国土形成計画(全国計画)中間整理(H27.1.19)	国土の基本構想:「対流促進型国土」の形成、重層的かつ強靱な「コンパクト+ネットワーク」、東京一極集中の是正と東京圏等の位置づけ、地域別整備の方向 国土の基本構想実現のための具体的方向性 : ・個性ある地方の創生 ・グローバルな活躍の拡大 ・安全・安心で持続可能な国土の形成 ・国土基盤の維持・整備・活用 ・地域を支える担い手の育成 ・共助社会づくり	
まち・ひと・しごと創生総合戦略(H26.12.27)	①「東京一極集中」を是正する。 ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現する。 ③地域の特性に即して地域課題を解決する。	
経済財政運営と改革の基本方針2014(H26.6.24)	1.女性の活躍、教育再生をはじめとする人材力の充実・発揮 2.イノベーションの促進等による民需主導の成長軌道への移行に向けた経済構造の改革 3.魅力ある地域づくり、農林水産業・中小企業等の再生 4.安心・安全な暮らしと持続可能な経済社会の基盤確保	
国土強靱化基本計画ー強くて、しなやかなニッポンへー(H26.6.3)	「強さ」と「しなやかさ」を持った安全・安心な国土・地域・経済社会の構築に向けた「国土強靱化」を推進する	(戦略的目標2:災害に強い防災先進圏域の実現) ・災害に強いデータベースシステムの構築 ・産業活動を支える高度なサプライチェーンの構築 ◆インフラの戦略的メンテナンスの推進
インフラ長寿命化基本計画(H25.11.29)	○安全で強靱なインフラシステムの構築 ○総合的・一体的なインフラマネジメントの実現 ○メンテナンス産業によるインフラビジネスの競争力強化	(戦略的目標2:災害に強い防災先進圏域の実現) ◆協働によるインフラの効果的・効率的な運営・整備
その他、「地域の資源と企業が輝く東北の舞台づくり～東北地方産業競争力協議会のまとめ～」(H26.4.16)、「新しい東北」の創造に向けて」(H26.4.18) 等		